

研究者 200 名規模、参加者約 1,000 名が集う 「esse-sense Future Forum 2026」 9 月 16・17 日開催

第 4 回テーマは「未来との邂逅(かいこう)―産業創造を実現する知のオーケストレーション」。

Dubai Future Foundation の Dr. Patrick Noack 氏、未来人類学者 Prof. Sarah Pink 氏が来日登壇

株式会社エッセンス



esse-sense Future Forum 2026 キービジュアル

研究知を活かす社会の実現に取り組む Knowledge Tech カンパニー、株式会社エッセンス（本社：沖縄県国頭郡恩納村、代表取締役：西村勇哉）は、2026 年 9 月 16 日（水）・17 日（木）の 2 日間、東京ミッドタウン八重洲にて、第 4 回となる招待制研究者ビジネスカンファレンス「esse-sense Future Forum 2026」を開催します。

本年は「未来との邂逅（かいこう）―産業創造を実現する知のオーケストレーション」をテーマに、大学・研究機関から研究者 200 名規模と、企業経営層・投資家・大学・政府・スタートアップなど約 1,000 名が集います。両日午前の基調講演とパネル、午後に 5 会場で展開する 24 の分科会を通じて、参加者が事業になる前の研究知に触れ、自社の次の事業テーマの仮説を持ち帰る 2 日間をつくります。

フォーラム特設サイト：<https://forum.esse-sense.com/2026/>

2026 テーマ

産業は、ひとつの知からは生まれない。

知を、協奏させる。

過去の産業創造のプロセスを紐解くと、事業が生まれる前には、研究機関・研究者による長い知の蓄積と、異なる知が会う協奏（オーケストレーション）がありました。ひとつの技術、ひとつの発見、ひとつの問い。それらが人・資本・場と出会い、束ねられ、やがて産業になる。本フォーラムは、この一連の過程を、単独の主役による成果ではなく、複数セクターの協働による知の協奏として捉え直します。

今年の議論を貫くのは、Deep Science と Deep Knowledge、そして未来研究が投げ返す「未来からの問い」です。生命や物質の根源へ降りていく探究と、身体・場所・暮らしという人間の営みの根源へ降りていく探究を往復し、まだ事業名のついていない研究知を、次の産業の構想へとつなぎます。

未来洞察を、国家スケールの産業戦略に実装する



未来博物館 (Museum of the Future, Dubai) / 写真: Dubai Future Foundation

Dr. Patrick Noack 氏 | Dubai Future Foundation

登壇: Day 1 (9月16日) 10:30 「産業創造と未来戦略—Dubai Future Forum の軌跡と役割」 ※同時通訳あり

「未来は、想像し、デザインし、実行する者のものである」という理念のもと、ドバイ政府が2016年に設立した未来戦略機関が Dubai Future Foundation (ドバイ未来財団) です。未来博物館 (Museum of the Future) を運営し、世界最大級のフューチャリスト会議 Dubai Future Forum を主催。2025年の同フォーラムには200名を超える登壇者と2,500名超が参加しました (主催者発表)。

基調講演を担う Dr. Patrick Noack 氏は、同財団のエグゼクティブ・ディレクター (未来・フォーサイト・イマジネーション担当)。前職では英国王立協会 (Royal Society) のシニア政策アドバイザーを務め、政府・国際機関・民間を横断してシナリオとフォーサイトの実務に携わってきました。本フォーラムでは、未来の知を産業創造へ接続するための設計を、当事者の視点から直接聞きます。

さらに国内のトップ研究者・企業経営者とのパネルを通じ、日本とドバイの継続的な知の交流と共創の架け橋を築きます。

未来を予測するのではなく、いま生きられている未来を読む



Prof. Sarah Pink 氏 / 写真：本人提供

Prof. Sarah Pink 氏 | Monash University

登壇：Day 2（9月17日）10:40 「未来の人類学からの問いーテクノロジーの中にある神話」 ※同時通訳あり

未来の人類学（Futures Anthropology）は、未来を確率で当てにいくのではなく、人びとが日々の暮らしのなかで未来をどう想像し、期待し、恐れ、すでに生きているかを民族誌の手法で捉える領域です。技術の受容も産業の転換も、その手前にある人びとの想像力と無関係には起こりません。

Prof. Sarah Pink 氏は、モナシュ大学教授、Emerging Technologies Research Lab 所長。デザイン人類学・未来人類学の世界的研究者であり、Future Anthropologies Network の共同創設者として、この領域の形成を牽引してきました。

未来戦略の要は、シナリオの精度だけではなく、どのような前提を置くかにあります。本講演では、テクノロジーの中に埋め込まれた神話ー私たちが無自覚に信じている未来の物語ーをどう見抜くかを聞き、自社の構想がどのような前提の上に立っているかを点検します。

身体とシステムの接続 —AI／AGI 時代の新たな神話—



Christopher Currell 氏 | Althea Project GK

登壇：Day 2（9月17日）11:40 「身体とシステムの接続 —AI／AGI 時代の新たな神話—」 ※同時通訳あり

音楽家、作曲家、シンセシスト、オーディオ・テクノロジスト、著者。マイケル・ジャクソンの『Bad』制作に Synclavier プログラマー／シンセシスト／サウンド・コンサルタントとして参加し、Bad ワールド・ツアーでは キーボードとギターを担当、『Dangerous』『HIStory』にも携わった。Audio Cybernetics 代表として、仮想現実が商業分野として確立する以前から先進的な仮想環境を構想し、NASA、Disney Imagineering、Sega、Nintendo などと仕事をしてきた。音と意識の長期的な研究から「カレルエフェクト」を提唱し、著書『量子ポテンシャルのハーモニック共鳴』にその基盤を示している。2026年に日本で設立した Althea Project GK では、Absolute Reductionism（AR）とその運用アーキテクチャ ARIS の考案者として、決定論的なエラー補正・検証のアーキテクチャ ARIS-EC の開発を進めている。

主な基調講演・パネル（予定）

DAY 1 | 9月16日（水）産業創造と知のオーケストレーション

- 10:00 OPENING 西村勇哉（esse-sense CEO）／安間裕（esse-sense COO）「AI時代の未来のつくり方と知のオーケストレーション」
- 10:30 Dr. Patrick Noack 氏（Dubai Future Foundation 代表）「産業創造と未来戦略—Dubai Future Forum の軌跡と役割」※同時通訳
- 11:30 合田圭介氏（東京大学・東北大学 教授）「セレンディピティを生み出すイノベーションラボ」

- 12:10 西山泰央氏（株式会社博報堂 D Y ホールディングス 代表取締役社長 CEO）「AI/AGI の先に求められる産業創造社会」
- 12:50 Panel Discussion「産業創造と知のオーケストレーション」
Dr. Patrick Noack 氏（Dubai Future Foundation 代表）/ 合田圭介氏（東京大学・東北大学 教授）/
宮城隆之（PwC コンサルティング合同会社 パートナー）/ 西山泰央氏（株式会社博報堂 D Y ホールディングス 代表取締役社長 CEO）

DAY 2 | 9 月 17 日（木）未来学とともに未来戦略を

- 10:40 Prof. Sarah Pink 氏（Monash University 教授）「未来の人類学からの問いーテクノロジーの中にある神話」※同時通訳
- 11:40 【特別ゲスト】 Christopher Currell 氏（Althea Project GK CEO）「身体とシステムの接続-AI/AGI 時代の新たな神話」
※同時通訳
- 12:40 Panel Discussion「未来を産業につなぐ経営リーダーシップ」
Prof. Sarah Pink 氏（Monash University 教授）/ 小川立夫氏（パナソニック ホールディングス株式会社 執行役員 グループ CTO）/ 岩井睦雄（日本たばこ産業株式会社社友）/ Christopher Currell 氏（Althea Project GK CEO）

※一部の登壇者・セッションは調整中です。最新情報は特設サイトで順次公開します。

午後は 5 会場で、24 の分科会を並行開催

両日の午後は、公開パネル、テーマ別セッション、スタートアップと投資家・事業会社の対話、少人数の招待制ワークショップまで、性質の異なるプログラムを 5 会場で展開します。

A | Deep Science

バイオものづくり、若返り・長寿、ブレインテック、AI for Science。生命や物質の根源へ降りていく科学の最前線を議論します。

B | Deep Knowledge

身体知と感性、リーダーの育成、経済の美学、人と AI の未来。身体・場所・暮らしという人間の営みの根源を探究します。

C | Theme & Global

産学連携、研究助成と財団、宇宙産業、海外共創。研究知を社会へ流すための実務を、現場の担い手が議論します。

D | Startup × VC

「Deep Sync by STORIUM 2026」。事前にマッチングされた VC・CVC・事業会社と研究開発型スタートアップが対話します。

E | Invitation-only Workshops

「Capital for Science」「Top Science for VC」など、大学関係者・VC 関係者を対象とした少人数の招待制ワークショップです。

Deep Sync by STORIUM 2026 | 対話から資金調達・事業連携へ

資金調達・事業提携・社会実装を目指す研究開発型スタートアップと、VC・CVC・事業会社の意思決定者を事前にマッチングし、35 分×3 回の対話型セッションを実施します。参加スタートアップは事前選考制。面談設計から終了後のフォローアップまで STORIUM が伴走し、次の具体的なアクションにつながる出会いを支援します。

詳細・エントリー（締切：2026 年 8 月 18 日 23:59）：<https://storium.jp/event/16448>

開催概要

名称	esse-sense Future Forum 2026
テーマ	未来との邂逅（かいこう）ー産業創造を実現する知のオーケストレーション
日時	2026 年 9 月 16 日（水）・17 日（木）10:00～19:00／交流会 19:00～20:30（両日）
会場	東京ミッドタウン八重洲 4F-5F 一部 7F（東京都中央区八重洲 2-2-1）
形式	招待制／現地参加・オンライン配信
規模	大学・研究機関から研究者 200 名規模／現地参加者 約 1,000 名（予定）
構成	午前：基調講演・パネル／午後：5 会場・24 分科会ほか
主催	株式会社エッセンス
共催	NPO 法人ミラツク
公式サイト	https://forum.esse-sense.com/2026/

※内容・時間・登壇者は変更となる場合があります。最新情報は公式サイトをご確認ください。

参加登録

企業経営層、新規事業開発、R&D・技術戦略、イノベーション戦略、CVC、金融機関、VC・投資家、大学・研究機関、政府・行政、財団、スタートアップなど、産業の次を構想する方を対象とした招待制カンファレンスです。参加登録は公式サイトから受け付けています。

参加登録：<https://forum.esse-sense.com/2026/register/>

区分	受付期間	参加費（税別）
現地・アーリーバード	～8月31日	80,000円
現地・スタンダード	9月1日～9月10日	98,000円
現地・ファイナル	9月11日～9月17日	120,000円

オンライン配信：1日視聴 7,000円＋税／2日視聴 12,000円＋税。現地参加費は2日間の通し料金です。

代表者コメント

株式会社エッセンス 代表取締役 CEO 西村勇哉



新しい産業は、ひとつの優れた技術や、ひとりの突出した人物だけから生まれるものではありません。研究者が積み重ねてきた知が、企業の実行力、投資家や財団の資本、政策、そして人が出会う場と結びつき、協奏することで、初めて社会を動かす大きな流れになります。今年のテーマには、その原点に立ち返りたいという思いを込めました。

本年は、未来洞察を国家規模の戦略へ実装してきた Dubai Future Foundation の Dr. Patrick Noack 氏と、私たちがすでに生きている未来を読み解く未来人類学の Prof. Sarah Pink 氏を迎えます。外から日本を見る二つの視点と、国内の研究者・経営者・投資家・大学・政府・スタートアップが持つ知と実践を重ね、まだ事業名のついていない可能性を見つける 2 日間に行いたいと考えています。

参加される皆様には、情報を持ち帰るだけでなく、自社が次に問うべきことは何か、誰とその問いを育てるべきかという具体的な仮説を持ち帰っていただきたいと思います。ここで生まれた出会いが、日本とドバイ、研究と産業、現在と未来をつなぎ、新たな産業創造へ向かう起点になることを願っています。

取材メディア向け招待枠について

本フォーラムでは、取材メディア向けの招待枠を設けています。取材をご希望の方は、媒体名、ご所属・お名前、ご連絡先、関心のあるテーマ、取材希望日を記載のうえ、下記までお問い合わせください。

株式会社エッセンスについて

株式会社エッセンスは、2021 年に沖縄・恩納村の OIST（沖縄科学技術大学院大学）内に設立された、研究知と社会をつなぐ Knowledge Tech カンパニーです。研究者専門 WEB メディア「esse-sense」、招待制研究者ビジネスカンファレンス「esse-sense Future Forum」、研究者・研究テーマ探索 AI 「ANSWER」、企業向け基盤 AI システム「ANSWER+」を展開。研究者・大学・企業を結ぶプラットフォームとして、研究知が事業と社会の未来に活かされる仕組みを構築しています。

商号	株式会社エッセンス
代表者	代表取締役 西村勇哉
所在地	沖縄県国頭郡恩納村字谷茶 1919-1 OIST インキュベーションスクエア・インキュベータ
設立	2021 年 3 月
URL	https://esse-sense.com/company

報道関係者からのお問い合わせ

株式会社エッセンス 担当：西川律子

E-mail : info@esse-sense.com